

【単元の到達目標】

- ◎ 体ほぐしや多様な動きをつくる運動遊びを行い，体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに，
ができるようにする。
- 体ほぐしの運動では，心と体の変化に気付いたり，体の調子を整えたり，みんなでかかわり合ったり
な運動や律動的な運動ができるようにする。
- 多様な動きをつくる運動遊びでは，体のバランスをとったり移動をしたりするとともに，用具の操作
ができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動をしたり，場の安全に気を付けたりすることができ
る。
- ◎ 体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・運
体づくりの運動遊び	4	4月	体ほぐしや多様な動きをつくる運動遊びを行い，体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに，体の基本的な動きができるようにする。	・体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、力いっぱい動くと汗が出たり、心臓の鼓動が早くなったりすることに気付くことができる。 ・姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つなどの運動遊びを通して、バラ		○	○

p
4 時間

体の基本的な動き

行うための手軽

いなどをするこ

えりようにする。

走・跳の運動遊び 走の運動遊び	教科書 授業時数 領域：運動領域
---------------------------	------------------------

【単元の到達目標】

- ◎ 走の運動遊びを楽しく行い、その動きができるようにする。
- いろいろな形状の線上を蛇行して走ったり、まっすぐ走ったり、距離や方向などを決めて走ったりできるようにする。
- 手でのタッチやバトンをパスする折り返しリレー遊びをすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を配ることができるようにする。
- ◎ 走ることをとり入れた簡単な遊び方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点			
					学・人	思・判・表	知・技	
走の運動遊び	5	4～5月	走の運動遊びを楽しく行い、その動きができるようにする。	・かけっこやリレーを行う際に、順番やきまりを守り、誰とでも仲良くすることができる。 ・直線や曲線、ジグザグなどいろいろな場から自己に適した運動遊びの場を選ぶことができる。 ・いろいろな形状の線上等をまっすぐ走ったり、蛇行して走ったりすることが	○	○	○	

p
5時間

ることができる

かけたりすること

ゲーム 鬼遊び	教科書 授業時数	p 4時間
領域：運動領域		

【単元の到達目標】

- ◎ 鬼遊び運動を楽しく行い，その動きができるようにする。
- 一定の区域で，逃げる，追いかける，陣地を取り合うなどの簡単な規則の鬼遊びをすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- ◎ 簡単な規則を工夫したり，攻め方を決めたりすることができるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
鬼遊び	5	5	鬼遊び運動を楽しく行い，その動きができるようにする。	・きまりや約束を決めてみんなと仲よく進んで鬼遊びをしようとする。 ・友達のよいところを見つけたり、鬼を上手くかわしたりする方法について伝えようとしている。 ・すばやく走ったり，体をひねったりして，鬼のタッチをかわすことができる。	○	○	○

器械・器具を使つての運動遊び 1 鉄棒を使った運動遊び	教科書	p
	授業時数	7時間
	領域：運動領域	

【単元の到達目標】

- ◎ 鉄棒を使った運動遊びを楽しく行い、その動きができるようにする。
- 鉄棒を使った運動遊びでは、鉄棒を使って跳び上がりや跳び下りをして遊んだり、ぶら下がったりや回転などをして遊んだりすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- ◎ 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
鉄棒を使った運動遊び	6	6～7月	鉄棒を使った運動遊びでは、鉄棒を使って跳び上がりや跳び下りをして遊んだり、ぶら下がったりや回転などをして遊んだりすることができるようにする。	・ぶら下がったり、さかさまになったりするなど、鉄棒を使つての運動遊びにすすんで取り組んでいる。 ・手や足、腹でぶら下がってじゃんけんしたり、体を揺らして遠くへ跳ぶ競争をするなど楽しくできる遊び方を選ぶことができる。 ・行い方を知るとともに、鉄棒を使って、手や腹、膝で支持したり、ぶら下がったり、揺れたり跳び上がった、回転したりして遊ぶことができる。	○	○	○

器械・器具を使つての運動遊び

固定施設を使った運動遊び

教科書

授業時数

領域：運動領域

【単元の到達目標】

- ◎ 固定施設を使った運動遊びを楽しく行い、その動きができるようにする。
- 固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをして遊んだり、逆さま遊んだりすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。
- ◎ 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
固定遊具を使った運動遊び	3	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをして遊んだり、逆さま姿勢などをもって遊んだりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・順番やきまりを守り、誰とでも仲良くすることができる。 ・それぞれの固定施設を使っているいろいろな姿勢をとったり、おにごっこやじゃんけんをして登り下りしたりするなど、楽しくなる場や遊び方を選ぶことができる。 ・行い方を知るとともに、ジャングルジムや雲梯、登り棒、肋木、平均台などで、いろいろな登り下りやぶら下がりをしたり、懸垂移動をしたり、渡り歩きや跳び下りをしてすることができる。 	○	○	○

p
3時間

勢などをとって

きるようにする。

ゲーム ボールゲーム	教科書 授業時数	p 6時間
領域：運動領域		

【単元の到達目標】

- ◎ ボールゲームを楽しく行い、その動きができるようにする。
- いろいろなボール使って、つく、転がす、投げる、捕る、当てる、蹴る、止めるなどの簡単なボール操作によって、的当て遊びやキャッチボールをすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- ◎ 簡単な規則を工夫したりすることができるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
ボールゲーム1	6	6	いろいろなボール使って、つく、転がす、投げる、捕る、当てる、止めるなどの簡単なボール操作によって、的当て遊びや相手のコートにボールを投げ入れるゲームをすることができるようにする。	・約束を決めて、みんなと仲よく進んでボールゲームをして遊ぼうとする。 ・ゲームの場やルールなどを工夫している。 ・緩やかにボールを投げ入れたり、取ったりすることができる。	○	○	○

水遊び 水の中を移動する運動遊び 1	教科書 授業時数 領域：運動領域	p 2時間
------------------------------	------------------------	----------

【単元の到達目標】

- ◎ 水遊び運動を楽しく行い、その動きができるようにする。
- 水の中を移動する運動遊びでは、水につかったり移動したりして遊んだりすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする。
- ◎ 水中での簡単な遊び方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
水の中を移動する運動遊び	2	6	運動に進んで取り組み、仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする。	・準備運動や整理運動をしっかり行い、プールサイドは走らない、プールに跳び込まないなどの水遊びの心得を守ることができる。 ・水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方や場を選ぶことができる。 ・水の抵抗に負けないうちに自由に歩いたり走ったり、方向を変えたりすることができる。	○	○	○

水遊び もぐる・浮くの運動遊び	教科書 授業時数	p 8時間
領域：運動領域		

【単元の到達目標】

- ◎ 水遊び運動を楽しく行い、その動きができるようにする。
- 浮く・もぐる遊びでは、水に浮いたりもぐったり、水中で息をはいたりして遊んだりすることができるようにする。

- ◎ 運動に進んで取り組み、仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする。
- ◎ 水中での簡単な遊び方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学 ・ 人	思 ・ 判 ・ 表	知 ・ 技
もぐる・浮く運動	8	7月 ～ 8月	浮く・もぐる遊びでは、水に浮いたりもぐったり、水中で息をはいたりして遊んだりすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・水につかって動物のまねをしたり、鬼遊びをしたり、いろいろな姿勢でもぐったり浮いたりするなど、水遊びにすすんで取り組むことができる。 ・友達のよい動きを見つけたり、考えたりしたことを友達に伝えることができる。 ・石拾いや伏し浮きなどで、息を止めたり吐いたりしながらいろいろな姿勢でもぐったり浮いたりすることができる。 	○	○	○

体づくりの運動遊び 体ほぐしの運動遊び2	教科書	p
	授業時数	2時間
	領域：運動領域	

【単元の到達目標】

- ◎ 体ほぐしの運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようになる。
- 体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動ができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- ◎ 体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・運
体ほぐしの運動遊び	2	9月	体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動ができるようにする。	・体ほぐしの運動にすすんで取り組むことができる。 ・できそうな運動遊びや友達と一緒に行動うと楽しい運動遊びを選んだり、場や用具を変えて楽しくできる遊び方を工夫することができる。 ・新聞紙やテープなどを用いて、動作や条件を変えて、誰とでも協力したり助け合ったりして運動することができる。	○	○	○

表現・リズム遊び 表現遊び	教科書	p
	授業時数	2時間
	領域：運動領域	

【単元の到達目標】

- ◎ 表現遊び運動を楽しく行い，題材になりきって踊ることができるようにする。
- 身近な題材の特徴をとらえ，そのものになりきって全身の動きで楽しく踊ることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み，だれとでも仲よく踊ったり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- ◎ 簡単な踊り方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
表現遊び	2	9	表現遊び運動を楽しく行い，題材になりきって踊ることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・題材になりきって楽しく表現遊びをしようとする。 ・題材の特徴的な様子を出し合ったり、それにふさわしい動きを見付けたり、友達の動きを取り入れたりすることができる。 ・いろいろな動物になりきって、特徴のある動きで体全体を使って即興的に踊ることができる。 	○	○	○

表現・リズム遊び

リズム遊び

教科書

授業時数

領域：運動領域

【単元の到達目標】

- ◎ リズム遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともにリズムにのって踊ることができるようにする
- 軽快なリズムに乗って踊ることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- ◎ 簡単な踊り方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点			
					学・人	思・判・表	知・技	
表現遊び	2	9	リズム遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともにリズムにのって踊ることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム遊びにすすんで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができる。 ・軽快なリズムの特徴を捉えた動きを選んだり、気に入った動きを見付けたり、友達の動きを取り入れたりすることができる。 ・軽快なリズムの音楽に乗ってへそを中心に弾んで踊った 	○	○	○	

p
6時間

3。

うにする。

器械・器具を使つての運動遊び
 マットを使った運動遊び

教科書
 授業時数

領域：運動領域

【単元の到達目標】

- ◎ マットを使った運動を楽しく行い、その動きができるようにする。
- マットに背中や腹などをつけていろいろな方向へ転がって遊んだり、手や背中で支持しての逆立ちなどができるようになる。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。
- ◎ 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
マットを使った運動遊び 1	6	10月	マットに背中や腹などをつけていろいろな方向へ転がって遊んだり、手や背中で支持しての逆立ちなどをして遊んだりすることができるようにする。 〈遊びの例〉 ・ゆりかご、おきあがりこぼし、前転がり、後ろ転がり、丸太転がり／かえるの足打ち、川跳び、壁登り逆立ち、など。	・いろいろなマット遊びに進んで取り組みもうとする。 ・坂道やジグザグなどの複数のコースでいろいろな方向に転がることのできるような場を選ぶことができる。 ・マットに背中や腹などをつけていろいろな方向へ転がって遊んだり、手や背中で支持して逆立ちなどをしたりすることができる。	○	○	○

p
6時間

みどをして遊んだ

きるようにする。

ゲーム ボールゲーム 2	教科書 授業時数 領域：運動領域
------------------------	------------------------

【単元の到達目標】

- ◎ ボールゲームを楽しく行い，その動きができるようにする。
- いろいろなボール使って，つく，転がす，投げる，捕る，当てる，止めるなどの簡単なボール的当て遊びやキャッチボールをすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を配ることができるようにする。
- ◎ 簡単な規則を工夫したりすることができるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
ボールゲーム 2	6	10	いろいろなボール使って，つく，転がす，投げる，捕る，当てる，止めるなどの簡単なボール操作によって，的当て遊びや相手のコートにボールを投げ入れるゲームをすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・約束を決めて，みんなと仲よく進んでボールゲームをして遊ぼうとする。 ・ゲームの場やルールなどを工夫している。 ・狙ったとことにボールを投げることができる。 	○	○	○

p
6時間

し操作によって、
けたりすること

令和6年度 1年 体育

走・跳の運動遊び 跳の運動遊び	教科書 授業時数 領域：運動領域	p 5時間
--------------------	------------------------	----------

【単元の到達目標】

- ◎ 跳の運動遊びを楽しく行い、その動きができるようにする。
- 助走をつけて片足で踏み切り、前方や上方に跳んだり、片足や両足で連続して跳んだりすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- ◎ 跳ぶことをとり入れた簡単な遊び方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
跳の運動遊び	5	1 1	助走をつけて片足で踏み切り、前方や上方に跳んだり、片足や両足で連続して跳んだりすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな跳の運動遊びに進んで取り組みようとする。 ・跳ぶ高さや距離、間隔などいろいろな運動遊びの場から自己に適した運動遊びの場を選ぶことができる。 ・助走して片足や両足で遠くに跳んだり、連続で跳んだりすることができる。 	○	○	○

走・跳の運動遊び

走の運動遊び2

教科書

授業時数

領域：運動領域

【単元の到達目標】

- ◎ 走の運動遊びを楽しく行い、その動きができるようにする。
- 距離や方向などを決めて走ったり、手でのタッチやバトンをパスする折り返しリレー遊びをすること
する。
- 段ボールや輪などの低い障害物を走り越えたり、低い障害物を用いてのリレー遊びをすることができ
る。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を
配ることができるようにする。
- ◎ 走ることをとり入れた簡単な遊び方を工夫できるようにする。

小単元名	時 数	配 当 月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点			
					学 ・ 人	思 ・ 判 ・ 表	知 ・ 技	
走の運動遊び2	5	11 月	段ボールや輪などの 低い障害物を走り越 えたり、低い障害物 を用いてのリレー遊 びをすることができ るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこやリレー を行う際に、順番や きまりを守り、誰と でも仲良くすること ができる。 ・感想や動きのポイ ント、友達のよい動 きを見付けて、伝え ることができる。 ・いろいろな間隔に 並べられた低い障害 物を走り越えること ができる。 	○	○	○	

p
5時間

ことができるように

できるようにする。

かけたりすること

ゲーム ボールゲーム3	教科書 授業時数	p 6時間
領域：運動領域		

【単元の到達目標】

- ◎ ボールゲームを楽しく行い、その動きができるようにする。
- ボールを転がしたり投げたり、打ったりする簡単なボール操作やボールを持たないときの動きによって、簡単な規則で行われる的当てゲームや攻めと守りのあるゲームをすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- ◎ 簡単な規則を工夫したり、攻め方を決めたりすることができるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
ボールゲーム3(ボール投げ・ベースボール型)	6	1 2	ボールを転がしたり投げたり、打ったりする簡単なボール操作やボールを持たないときの動きによって、簡単な規則で行われる的当てゲームや攻めと守りのあるゲームをすることができるようにする。	・規則を守り、みんなと仲よく協力して、ボールゲームに取り組むことができる。 ・ボールを捕ったり止めたりすることについて考えたことを表現することができる。 ・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースに入り、ボールを捕って投げるなど簡単なボール操作ができる。	○	○	○

器械や器具を使った運動遊び

跳び箱を使った運動遊び

教科書

授業時数

領域：運動領域

【単元の到達目標】

- ◎ 跳び箱を使った運動遊びを楽しく行い、その動きができるようにする。
- 跳び箱を使って跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りをして遊んだり、馬跳びをすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。
- ◎ 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
跳び箱を使った運動遊び	6	11月～12月	跳び箱を使って跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りをして遊んだり、馬跳びをすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱を使った運動遊びにすすんで取り組み、場や器械・器具の安全に気を付けて準備や片付けをしている。 ・片足や両足で跳び乗ったり、手を叩いたり、回ったりして着地するなど、いろいろな動きを選ぶことができる。 ・跳び箱を使って跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りをして遊んだり、馬跳びをして遊んだりする 	○	○	○

p
6時間

として遊んだりす

きるようにする。

<p>体づくりの運動遊び 体ほぐしの運動遊び3・多様な動きをつくる運動遊び3</p>	<p>教科書 授業時数</p>	<p>p 4時間</p>
<p>領域：運動領域</p>		

【単元の到達目標】

- ◎ 体ほぐしや多様な動きをつくる運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようにする。
- 体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動ができるようにする。
- 多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとったり移動をしたりするとともに、用具の操作などを行うことができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

- ◎ 体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫できるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・運
体ほぐしの運動遊び3・多様な動きをつくる運動遊び3	4	1月	多様な動きをつくる運動遊びでは、姿勢、速さ、リズム、方向、などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、跳ねるなどの動きで構成される運動遊びを通して、様々な行い方で体を移動する動きを身に付ける。	・多様な動きをつくる運動遊びにすすんで取り組み、誰とも仲良く運動している。 ・友達の良い動きを見付けたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えることができる。 ・横や後ろ斜めに走ったり、両足や片足でいろいろな跳び方で、リズムや方向、高さを変えて跳ねたりして体を移動	○	○	○

ゲーム 鬼遊び	教科書 授業時数 領域：運動領域
-------------------	------------------------

【単元の到達目標】

- ◎ 鬼遊び運動を楽しく行い，その動きができるようにする。
- 一定の区域で，逃げる，追いかける，障地を取り合うなどの簡単な規則の鬼遊びをすることができる
- ◎ 運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を配ることができるようにする。
- ◎ 簡単な規則を工夫したり，攻め方を決めたりすることができるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
鬼遊び	4	1月	鬼遊び運動を楽しく行い，その動きができるようにする。	・規則を守り誰とも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたりすることができる。 ・簡単な遊び方や規則の中から、楽しく鬼遊びができる場や得点の方法などを選ぶことができる。 ・少人数で連携して、相手をかかわしたり、走りぬけたりすることができる。	○	○	○

p
4時間

るようにする。
けたりすること

ゲーム ボールゲーム4	教科書 授業時数 領域：運動領域
-----------------------	------------------------

【単元の到達目標】

- ◎ ボールゲームを楽しく行い，その動きができるようにする。
- ボールを転がしたり投げたりする簡単なボール操作やボールを持たないときの動きによって，簡単な当てゲームや攻めと守りのあるゲームをすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を配ることができるようにする。
- ◎ 簡単な規則を工夫したり，攻め方を決めたりすることができるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
ボールゲーム4 (ボール投げゲーム2)	6	2	ボールを転がしたり投げたりする簡単なボール操作やボールを持たないときの動きによって，簡単な規則で行われる当てゲームや攻めと守りのあるゲームをすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規則を決めて，みんなと仲よく進んでボールを投げる当てゲームをしようとする。 ・ ボールを捕ったり止めたりするときに行った工夫を動作や言葉で伝えることができる。 ・ 防御をかわしたり，防御のすきをついてボールを投げるることができる。 	○	○	○

p
6時間

規則で行われる

けたりすること

ゲーム ボールゲーム5（ボールけりゲーム）	教科書 授業時数 領域：運動領域	p 6時間
---------------------------------	------------------------	----------

【単元の到達目標】

- ◎ ボールゲームを楽しく行い、その動きができるようにする。
- 転がしたり、蹴ったり、止めたりする簡単なボール操作やボールを持たないときの動きによって、簡単な規則で行われる的当てゲームや攻めと守りのあるゲームをすることができるようにする。
- ◎ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- ◎ 簡単な規則を工夫したり、攻め方を決めたりすることができるようにする。

小単元名	時数	配当月	到達目標 (活動目標)	評価規準	評価の観点		
					学・人	思・判・表	知・技
ボールゲーム5（ボール蹴りゲーム1）	6	3	転がしたり、蹴ったり、止めたりする簡単なボール操作やボールを持たないときの動きによって、簡単な規則で行われる簡単なボール蹴りゲームを行う。	・約束を決めて、みんなと仲よく進んでボールをける簡単なゲームをしようとする。 ・ゲームの場や得点の方法など、ルールを工夫している。 ・防御をかわしたり、防御のすきをつけてボールをけることができる	○	○	○